



ROTARY WORLD



ロータリーの新たな チャレンジ

ビル・アンド・メリンダ財団からの2億ドルの補助金により、ロータリーは2億ドルのチャレンジに挑戦することになりました。ロータリーのポリオ撲滅活動は、インド、デリーにある聖ステイアンズ病院に入院するこの男の子のような子供たちを助けています。1ページを参照。

最新出版物の紹介

国際親善奨学金申請書 (139-JA) : 1学年度、文化研修、マルチイヤーの各国際親善奨学金の申請希望者用。1回の注文につき25部限定。無料。

毎年あなたも100ドルを「財団の友」バッジ・ステッカー (956-MU) : 「財団の友」会員になった寄付者に進呈する64枚のシール式認証ステッカー。多言語。無料。



人類のために活動しますV (607-JA) : テレビ、ラジオ、印刷、インターネット、看板用の公共奉仕広告を収録した4枚組みディスクのセット。会員増強とロータリーの「今こそポリオ撲滅のとき」キャンペーンの推進に役立ちます。無料。

ロータリー・センター学友パンフレット (092-JA) : ロータリー世界平和フェロシップ学友の進路を紹介しています。限定部数に限り無料。

ロータリアンのためのプログラム手引き：国際問題研究のためのロータリー・センター・プログラム (085-JA) : ロータリアンによるロータリー・センターの推進、ロータリー世界平和フェロシップの有資格申請者の選考、受領者に対するプログラムの目標の指導、フェロの受け入れ、学友との連絡の推進・維持に役立つ包括的な手引書。限定部数に限り無料。

ロータリー世界平和フェロシップ申請書 (083-JA) : ロータリー世界平和フェロシップ申請者用。限定部数に限り無料。

RVM：ロータリアン・ビデオ・マガジン第4巻第2号 (506-08) : 米国の職業訓練プログラム、子供の死亡率低下を目指す韓国とモンゴルの合同プロジェクト、最初のロータリー・クラブであるシカゴ・ロータリー・クラブのストーリーを収めたDVD。ボーナス：インドとネパールの国境周辺で実施された準全国予防接種日の模様を写真で綴るフォトエッセイ。\$15



RVM：ロータリアン・ビデオ・マガジン第4巻、年間予約購入 (RVM0809) : 2枚分の価格で3枚購入できます。各DVDには、世界各地のプロジェクトや人々を紹介するエピソードが3~4話収められています。クラブや地区の会合で放映するのに最適です。(日本語吹き替え付き) \$30

ロータリーとは (449-JA) : ロータリーが、どのようにポリオ撲滅活動に取り組み、異文化間の理解を推進し、平和を育み、よりよい世界を築いているかを紹介するDVD。再生時間4分間。\$15

ご注文はshop.rotary.org、Eメール (shop.rotary@rotary.org)、または日本事務局資料室まで。電話 (1-847-866-4600) もしくはファックス (1-847-866-3276) でもご注文いただけます。お支払い確認後にご注文の品が発送されます。

ロータリー世界各地から

ヨルダンに医療機器を アマン・イエラシュ・ロータリー・クラブ (ヨルダン) は、2007年と2008年、ヨルダン北西部のカズマに住む村人たちを支援するため、2回の医療プロジェクトを実施しました。マッチング・グラントの支援の下、4万ドルをかけた最初のプロジェクトでは、ヨルダンのクラブが、米国イリノイ州、ネイバービル・ロータリー・クラブおよびその他2つのイリノイ州のクラブと協力し、カズマ医療センターに寄贈する超音波装置や心電図装置を購入しました。その後、2008年には、トルコのイスタンブール・フェネルバセ・ロータリー・クラブおよび新たなマッチング・グラントの支援の下、2万ドルをかけて完全設備の整った歯科クリニックを設立するプロジェクトが開始されました。村人6千人が利用するこのセンターは、2006年に米国開発庁により設立されましたが、設備が十分ではありませんでした。

ハンガリーの消防士にPASSを 昨年9月、ハンガリー、ソブロン市の消防署に28個のPASS (personal alert safety system) とモニターリング装置が贈られました。これは、米国ニュージャージー州のジェファーソン・タウンシップ・ロータリー・クラブ会員のマーギット・ラヒルさんと、その息子でボランティアの消防士であるマイケルさんが始めた29,000ドルのプロジェクトによるものです。それまでハンガリーに導入

されていなかったPASSは、消防士が意識不明や危険な状態になるとアラームが作動するという仕組みになっています。ソブロン・クラブとフロリダ州のインディアン・ロックス・ビーチ・クラブ、第6950地区 (フロリダ州)、第7470地区 (ニュージャージー州) が、このマッチング・グラント・プロジェクトに寄付しました。



南太平洋諸島でスケートボード ガラバン、サイパン、北マリアナ諸島の若者たちが、会員数55人のサイパン・ロータリー・クラブによる約5年にわたる活動の恩恵を受けました。11月に作られた360平方メートルのコンクリート舗装のスケート

公園には、傾斜台や傾斜面のほか、太陽電池による照明も設けられており、街路に出ることなく安全にスケートが楽しめるようになっています。15万米ドルの公園建設費は、サイパンのクラブがゴルフ・トーナメント、オークション、ラスベガス風のカジノイベントを行うなどして募金しました。

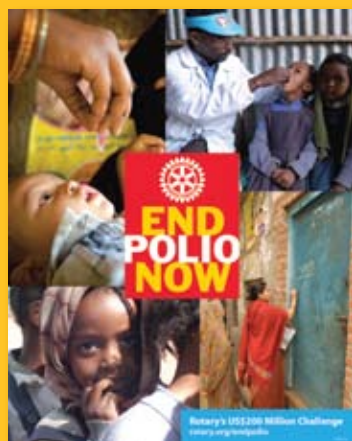
ロータリーの2億ドルのチャレンジ

チャレンジ達成に向けて以下のリソースをご利用ください



END POLIO NOW

詳細またはご寄付は
www.rotary.org/endpolio をご覧ください。



ポスター (987)
無料



DVD (985)
15米ドル



襟ピン (988)
50米ドル (100個セット)



ビル・ゲイツ氏講演のDVD (977)
50米ドル (100個セット)

併せてご利用ください：パンフレット (986) 無料、ボックス (989) 3米ドル



特集記事

「Le Rotarian」誌の
奨学金プログラム

4



村を支援しよう

5



国際親善奨学生の
奉仕活動

6



ゲイツ氏からの激励

ロータリーのチャレンジを支援するために、インドのロータリアンから、多額の寄付が寄せられました。ラジャシュレー・ビルラさん(右)が、インドのニューデリーで11月に開かれた会合にビル・ゲイツ氏(中央)を迎え、この会合にはラジェンドラ K. サブー元RI会長(左)も出席しました。

3ページを参照。



ゲイツ氏がポリオ撲滅のために新たに 2億5,500万米ドルの支援を発表

世界的なポリオ撲滅活動に充てるために、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から国際ロータリーに対し、新たに2億5,500万米ドルの補助金が寄せられ、これによって両者の提携による資金投入誓約額は5億5,500万ドルとなりました。

「ロータリアン、各国の指導者、保健専門家といった方々の懸命な努力のおかげで、ポリオを患う子供の数は、世界でもほんのわずかとなりました」と、1月に米国サンディエゴで開かれた国際協議会においてゲイツ氏は述べています。「撲滅という目標に私自身が深くかかわるようになったのは、撲滅を目指して努力を傾けるロータリーのひたむきな姿に深い感動を覚えたことが大きな理由です」

「私自身がかかわるようになったのは、ロータリーの姿に感動を覚えたことが理由です」
ビル・ゲイツ

今回の補助金、2億5,500万ドルを受け、ロータリーは、1億ドルを独自に募金してこの補助金に上乗せすることを約束しました。2007年11月にもゲイツ財団から1億ドルの補助金を受領しているロータリーは、これに上乗せするために1億ドルを募金することを、既に目標として掲げていました。

2回にわたるゲイツ財団からの補助金額は3億5,500万ドルに上り、ロータリーは、2012年6月30日までに合計2億ドルを独自に調達することを新たな目標としました。この取り組みは「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」と呼ばれます。

この活動を成功させるには、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」へのロータリー・クラブならびにロータリアンからの支援が極めて重要です。ロータリーでは、2008年にこの目標に向けて6,200万ドルの寄付を集めたほか、1,100万ドルの寄付誓約がありました。今後3年間、各クラブは、募金活動を毎年実施するよう呼びかけられています。また、昨年10月、ロータリー財団管理委員会は、7月1日から特別なポール・ハリス・フェローの認証を設けることを承認し、「End Polio Now」のマークを付した認証状が作成されることになりました。

ロータリーは、世界ポリオ撲滅推進計画における予防接種活動の直接支援に、今回の2億5,500万ドルを投入していく予定です。世界ポリオ撲滅推進計画とは、世界保健機関(WHO)、国際



Rotary Images

1月に米国カリフォルニア州、サンディエゴで開かれた国際協議会で講演するビル・ゲイツ氏。ゲイツ財団は、ロータリーのポリオ撲滅活動を支援するために2億5,500万米ドルの補助金を授与しました。これに上乗せされるロータリーからの資金との総額は、5億5,500万ドルになります。

ロータリー、米国疾病対策センター(CDC)、ユニセフが協同で主導している活動です。ロータリーはこの資金を、WHOとユニセフへの補助金を通じて支給していくことになります。

これに加え、英国とドイツの政府も、それぞれ1億5,000万ドルと1億3,000万ドルをポリオ撲滅に寄付することを発表しました。両国からのこの寄付は、ロータリーのチャレンジには算入されません。

1985年以来、ロータリーはポリオの撲滅を最優先項目とし、この活動に12億ドル以上を寄付してきました。ゲイツ氏は、ボランティア活動、政府・自治体への働きかけ、寄付を通じて、感染者を99パーセントも減らすことに貢献したロータリーを称賛しました。

「ロータリーが存在しなければ、今の世界は違っていたでしょう。また、将来も、ロータリーがなければ、私たちが目標とする世界にたどり着くことはできないでしょう」とゲイツ氏は述べています。

水・衛生プロジェクトに向けて 新たな協力関係が成立

国際ロータリーと米国国際開発庁(USAID)が、発展途上国で水・衛生関連プロジェクトの実施に向けて、協力関係を結びました。

両組織は、アフリカ、アジア、ラテンアメリカに焦点を絞り、2009-10年度にガーナ、フィリピン、ドミニカ共和国で初のプロジェクトに着手する予定です。これらの国々において、ロータリー・クラブと地区、ならびにUSAIDが、効果的に水と衛生プロジェクトを実施していく能力があることは既に実証済みです。初期プロジェクトの後は、両組織で活動評価を行い、活動の幅をほかの国にも広げていくことを検討しています。

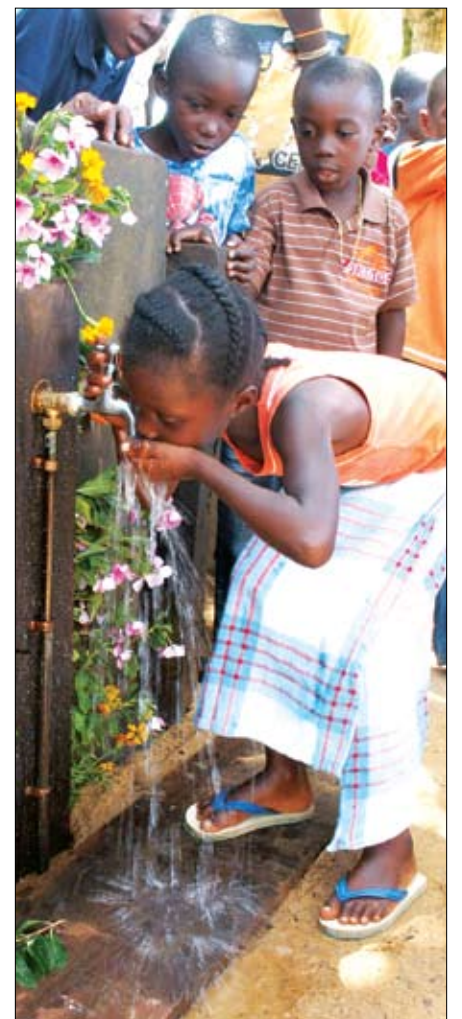
プロジェクトの資金は、ロータリー財団とUSAIDから提供されますが、両組織は、それぞれが個別に資金を支給するため、予算、支出、報告に関しては、各組織の既存の仕組みに従うことになります。プロジェクトに参加するロータリー・クラブと地区は、保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)補助金より支援を受けます。また、両組織が技術面や現地での援助に当たります。

「私たちは、これらのプロジェクトを、ほかの協力組織との今後のプロジェクトの模範とし、世界理解、親善、平和へのさら

なる貢献につなげることを目指しています」と話すのは、RI-USAID運営委員会の委員長を務めるウィリアム B. ボイド元RI会長です。ボイド元RI会長は、今日の世界における課題にロータリーが応えていくことの必要性を強調するとともに、財団の未来の夢計画と協力組織との活動が、奉仕的を絞り、充実を図る手段となると指摘しました。

USAIDとは、米国の外交政策目標を支えるために、経済、開発、人道面で援助を提供する米国政府機関です。そのグローバル開発アライアンスは、非政府組織、財団、法人などの優れた民間組織との協力関係を推進しています。

USAIDの最高執行責任者であるアロンソ・フルガム氏は次のように述べます。「この重要な協力関係を通じて、世界中の大勢のロータリアンによる奉仕の精神と意欲が、USAIDの誇る国際開発の専門知識と技術面での率先力に一体化されることになります。この関係から、地球上で最も貧しく弱い立場にある人々に広く水と衛生設備がもたらされ、その成果は持続し続けることでしょう」



スリナムのロータリアンによる水プロジェクトを通じて、地域社会の人々にきれいな水がもたらされました。5ページを参照。

会長メッセージ

親睦と国際大会の醍醐味を ぜひ新会員の皆さんに

ロータリアンとなって何年、何十年も経つ方々にとっては(私もその一人ですが)、ロータリーがすっかり生活の一部になってしまっています。しかし誰にも新会員だった時があり、どのようにしてロータリーに導かれたかは、人それぞれです。

私にとって、ロータリー入会の決意は簡単なものでした。父が地区ガバナーを務めた経験を持つ長年のロータリアンであったため、ロータリーは我が家の伝統だったからです。ロータリアンになるには重大な責任が伴うと同時に、大きな達成感も体験できると心得ていました。

良いロータリークラブとは、奉仕と親睦と遊びとを上手に組み合わせているクラブです。私たちは、興味深く、生産性豊かなクラブ例会や行事を心待ちにします。また、古くからの友人に会える楽しみに加え、新しい人々や価値観を同じくする人々と知り合う喜びもあり、ともに一つのことを成し遂げた充足感を分かち合うことができます。

入会の理由はさまざまですが、多くの会員がクラブに留まる理由は、親睦にあります。毎週例会に出席するのも、世界中の多くの会員がRI国際大会に参加するのも、親睦がゆえです。

初めて出席する国際大会は、会員の多くにとって、ロータリアンとしての重要な分岐点となります。ロータリーの規模とその活動範囲に目を見張り、世界でよいことをする方に圧倒されるのです。

この素晴らしいロータリー年度も終わりに近づいてまいりました。今年度私たちは世界の子供たちのために夢をかたちにしようと多くを試みてきました。この年度が幕を閉じる前に、英国、バーミンガムで開催される2009年RI国際大会にお越しいただき、ともに成果を祝おうではありませんか。心に残る国際大会となることは間違いありません。皆さんにお目にかかれることを楽しみにしております。



Rotary Images



K. Lee

李東建

リンクの紹介

ロータリーのウェブサイト (www.rotary.org) は、9カ国で情報を豊富に提供しています。「ロータリー・ワールド」本号で取り上げられた記事の詳細もご覧いただけます。

ロータリー世界平和シンポジウムやその他の大会前行事を含むRI国際大会の情報をwww.rotary.org/conventionでご覧ください。

バーミンガムRI国際大会のホスト主催行事の内容や登録に関する情報をwww.rotaryconvention2009.comでご覧ください。

未来の夢計画の下、奉仕の第二世紀に備える財団について、www.rotary.org/futurevisionでお読みください。

www.rotary.org/projectresourcesには、奉仕プロジェクトを実施するロータリー・クラブに役立つリソースが豊富にあります。

www.rotary.org/clubtrainingeventsからは、地区協議会やその他の年次研修セミナーに関する詳細を得られるほか、関連資料のダウンロードもできます。

4月は雑誌月間です。「ザ・ロータリアン」誌とロータリアン・ワールド・マガジン・プレスに関する詳細をwww.rotary.org/rotarianとwww.rotary.org/regionalmagazinesをご覧ください。

6月はロータリー親睦活動月間です。www.rotary.org/fellowshipsを読み、共通の関心を持つ人々と国際的なネットワークを築きましょう。



www.rotary.org/rotarycentersでロータリー世界平和フェローに関する情報を読み、平和と紛争解決に取り組む未来のリーダーを探す方法を学びましょう。

www.rotary.org/fundaprojectでは、クラブまたは地区のプロジェクトのためのマッチング・グラントの申請方法を紹介します。

www.rotary.org/jump/polioでは、ロータリーがどのようにポリオ撲滅に取り組んでいるかを紹介しています。

各ページを日本語で読むには、ページをスクロールダウンし、一番下に表示されている言語の中の「日本語」をクリックしてください。

RIと財団の財務情報

RIウェブサイトは、現在の投資状況への組織の対応に関するエド・フタ事務総長からの最新情報をはじめ、国際ロータリーとロータリー財団の財務に関する包括的な情報を掲載しています。

www.rotary.org/financialsを訪れ、2007-08年度のRIとロータリー財団の年次報告書、監査済みの財務諸表、米国連邦税確定申告の記録を閲覧したり、RIの投資理念に関する情報や「よく尋ねられる質問」をご覧ください。

詐欺メールにご注意を

クラブ会長と地区ガバナーは、寄付、銀行口座の番号、あるいはその他の個人情報を求める詐欺メールが回っていることを会員にお知らせください。国際ロータリーは、Eメールを通じて寄付を懇請したり、Eメールあるいはその他の電子手段で個人情報を送るようお願いすることはありません。

詐欺メールの一つに、ある亡くなったロータリアンからの慈善事業への寄付金がEメール受信者に委ねられたとするものがあります。また、寄付をすればウェブサイトインターアクト・クラブの名前を掲載する、という趣旨の詐欺メールもあります。ほかには、Eメール受信者が賞金を獲得したという趣旨のもの、あるいはロータリーに関連する職務に選ばれたという趣旨の詐欺メールが回っています。

RIは、全ロータリアンとロータリー・クラブに対し、詐欺メールに注意を払い、疑わしいと思われるEメールはすべて直ちに削除し、被害を避けるよう呼びかけています。

RIゾーンの再編成

RIゾーンの新編成は7月1日から有効となりますが、この新編成は、2008-09年度理事指名委員会委員の選出に既に適用されています。

昨年6月に、RI理事会は、ロータリーの34ゾーンからRI理事を公平に選出するために、ゾーン境界を再編成することを採択しました。RI理事はゾーンから指名されるため、各ゾーン内のロータリアン数をほぼ等しくすることを、RI細則は規定しています。従って、理事会には、少なくとも8年に1度、ゾーンの構成を総合的に見直すよう義務づけられています。

ガバナー・エレクトは、2008-09年度には現行のゾーン編成に従ってガバナー・エレクト研修セミナー(GETS)に出席することになりますが、2009-10年度には、新たなゾーン編成に従ってGETSに参加することになります。

「未来の夢計画」試験段階への申請期限

新補助金モデルを試す「未来の夢計画」の試験段階(パイロット)への参加を検討している地区は、5月15日までに申請を済ませなければなりません。申請フォームは「会員アクセス」を通じてオンラインで入力できます。

ロータリー財団は、6月に参加地区を発表し、英国バーミンガムで開かれる2009年RI国際大会でもこれらの地区を発表します。3年間の試験段階(パイロット)は、2010年7月1日から始まります。

新補助金モデルとその試験段階に関するご質問は、Eメール(newgrantspilot@rotary.org)でお問い合わせください。

ポリオ撲滅のためのテキストメッセージ

米国内の携帯電話利用者は、テキストメッセージで「POLIO」と打つだけで、ロータリーの2億ドルのチャレンジへ5ドルの寄付を行うことができます(ただし1度限り)。この5ドルの寄付は、携帯電話料金に加算され、テキストメッセージの標準料金のほかに手数料が加わることもあります。携帯電話プロバイダが費用を請求し、利用者はプロバイダに対して支払いを行います。収益はロータリー財団に寄付されます。諸条件はwww.mgive.com/aに掲載されています。本号の発行時で、このサービスは米国国内のみで、Verizon社を除くほぼすべての携帯電話サービスで利用できるようになっています。

RIデータシステムの更新

RIでは3月に、データベースの中央化を図り、ロータリアンにとってオンラインの手続きがさらに便利になるよう、データシステムのアップデートを開始します。

アップデート後は、RIウェブサイトの「会員アクセス」から閲覧できる複数のページの内容が若干変わります。今後、「会員アクセス」のページで第二の連絡先の変更や追加を行うことができなくなります。これらの情報への変更は、RIデータサービス部にEメール(data@rotary.org)でご連絡ください。

詳細はwww.rotary.orgをご覧ください。

カレンダー

4月

雑誌月間

6月

ロータリー親睦活動月間

6月18~19日

ロータリー世界平和シンポジウム
平和構築への挑戦
バーミンガム(英国)

6月20日

ロータリー学友祝賀行事、
バーミンガム(英国)

6月21~24日

RI国際大会、バーミンガム
(英国)

各種締切日

4月15日

地区ガバナーが会長賞申込書を提出する締切日。クラブがRI会員増強推進計画の表彰の画期的な方法をガバナーへ提出する締切日。ガバナーが協同プロジェクト最高賞の推薦を提出する締切日。

4月30日

2009年RI国際大会の登録とRIチケット制行事のキャンセル要請の締切日。

5月1日

クラブが寄付増進目標を地区ガバナー・エレクトに提出する締切日。クラブ会長エレクトが、2009-10年度RI会員増強表彰プログラムの目標を地区ガバナー・エレクトに提出する締切日。

5月8日

2009年RI国際大会のためのホテル予約申込書を提出する締切日。

5月15日

ガバナーがロータリー財団功労賞の推薦書を提出する締切日。ガバナーがガバナー補佐からクラブ訪問報告用紙を受け取る締切日。ガバナーがRI会員増強推進計画の表彰のために画期的な方法を3つ(各部門につき1つ)提出する締切日。クラブが、李東建会長の2008-09年度会員増強表彰プログラムのための全会員データをRIへ提出する締切日。李東建会長の2008-09年度会員増強表彰プログラムの下、新クラブを設立する締切日。地区ガバナー・エレクトが寄付増進クラブ目標報告書式を提出する締切日。2009年RI国際大会チケット制行事の払い戻しを要請する締切日(12ドル50セントの手数料がかかります)。ガバナー・エレクトが、GETSとガバナー補佐研修の経費を報告する締切日(予算の70パーセントを使って7月に支弁を受ける)。地区ガバナー・エレクトが、2009-10年度RI会員増強表彰プログラムの地区目標を国際ロータリーに提出する締切日。地区が、未来の夢計画試験(パイロット)地区となるための申請書を提出する締切日。

5月31日

2009年RI国際大会のオンライン登録の締切日(当日登録料金となります)。

6月1日

次期ガバナーがクラブ・地区支援担当(日本事務局奉仕室)職員に公式訪問日程を提出する締切日。ガバナーがクラブ・地区支援担当(日本事務局奉仕室)職員にクラブ訪問報告用紙を提出する締切日。RI国際大会ホスト組織主催行事のチケットを購入する締切日。2008-09会計年度のRI広報補助金の支弁を要請する締切日。

6月15日

次期ガバナーが、2009-10年度国際親善奨学生のための受入側カウンセラーに任命されたロータリアンの氏名をロータリー財団に通知する締切日。

6月21日

ビザ不発行によりRI国際大会への登録をキャンセルする締切日。

6月30日

地区指名委員会が、2011-12年度ガバナー・ノミネーを選出する締切日。2008-09年度ロータリー財団への寄付をRI世界本部が受付ける締切日。クラブ会長が四大奉仕部門功労者賞の推薦書を提出する締切日。ガバナーが小規模クラブ会員増加の表彰のためのクラブ名を提出する締切日。

7月1日

2010年ロータリー世界平和フェローシップ申請書、半期報告書、人頭分担保を提出する締切日。各クラブがガバナーまたはガバナー補佐に「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」を提出する締切日。

その他のお知らせ

ロータリー財団は、地区補助金およびマッチング・グラントの申請書、3-H補助金提案書を7月1日より受け付けます。

現職の地区ガバナーは、地区大会終了から1カ月以内に、地区大会報告書をRIに提出するよう求められています。また、前任ガバナーの年次地区財務報告書と財務明細表をまだ提出していない場合は、これもご提出ください。また、月信で使うための6月の会員報告書を次期ガバナーに渡してください。

次期ガバナーは、地区ロータリー代表の研修を計画し、地区の会員増強目標、会員増強委員会委員長の連絡先、地区会員増強セミナーの日程をRIに提出するほか、ロータリー世界平和フェローシップ小委員会委員長の任命、2010年ロータリー世界平和フェローシップの候補者探し、地区ロータリー財団セミナーの計画を行う必要があります。

地区ガバナーと研究グループ交換小委員会委員長は、帰国した2008-09年度GSEチームがロータリー財団へ最終報告書を提出していることを確認してください。

2009年バーミンガム国際大会中、カナダ、モントリオールで行われる2010年RI国際大会の事前登録を行うことができます。

ロータリーのチャレンジでインドのロータリアンを激励するゲイツ氏

ポリオという悲惨な病から世界の子供たちを守る、という共通の願いの下に、ビル・ゲイツ氏とインドのロータリアンが、ニューデリーに集まりました。

「人の価値は、その人が何を所有しているかではなく、何を与えるかで評価されます」と、ラジェンドラ K. サブーRI元会長は11月5日の会合でゲイツ氏を紹介した際に述べました。同会合は、ラジャシュレー・ビルラ氏とインド・ポリオ・プラス委員会により開かれたものです。

インドで監視活動、予防接種、発症への緊急対応活動を見学し、ポリオ撲滅活動における同国の進捗状況をじかに知るために保健当局やポリオ専門家と会ったゲイツ氏は、今回の訪問について次のように語りました。

「(インドでの)全関係者の意欲、特に世界的なプログラムを立ち上げた国際ロータリーの取り組みには目覚ましいものがあります」

2008年4月、名誉会員であるビルラ氏は、ロータリーのチャレンジのために、100万米ドルの寄付を行いました。さらには11月の会合で、次のように発表しました。「今日、アディティア・ビルラ・グループは、新たに100万ドルを寄付することを約束します」

2007年12月、マハラシュトラ州のボンベイ・メトロポリタン・ロータリー・クラブの会員、ハーシャド R. メータ氏は、ロータリーのチャレンジに200万ドルを寄付することを約束しました。そのメータ氏は、ニューデリーの会合で、さらに150万ドルを寄付することを申し出ました。

「ロータリアンの皆さん、また志を共にする友人の皆さん、ロータリー財団のポリオ撲滅活動への意欲を新たにし、さらなる支援を注いでいくようお願いいたします」とメータ氏は呼びかけました。



ビル・ゲイツ氏とハーシャド R. メータ氏



ビル・ゲイツ氏とラジニカント D. シュロフ氏とサンドラ夫人

グジャラート州のバビ・ロータリー・クラブの会員、ラジニカント D. シュロフ氏も、同会合でロータリーのチャレンジに25万ドルを寄付することを約束しました。

シュロフ氏は次のように語っています。「誰もが少しずつ寄付を行っていけば、ポリオをインドから、そして世界から撲滅することが可能であると信じています」

2009年RI国際大会に参加する5つの理由

1. 講演者

講演者が、ロータリーの意義を語ります。今年度は、ミア・ファローさん、ジェーン・

グドール博士、ロータリアンでシェルター・ボックス創設者のトム・ヘンダーソンさん、同じくロータリアンで「PACE Universal (Promise of Assurance to Children Everywhere)」創設者のディーパ・ウィリಂಗムさんが講演を行います。また、デズモンド・ツツ元大主教が、大会前のロータリー平和シンポジウムで講演を行います。

2. ワークショップ

ワークショップでは、ロータリーが提供する機会を最大限に生かし、指導者としてさらに活躍していく方法を学ぶことができます。ワークショップでは、保健と飢餓追放、水、識字率向上、ロータリー財団、テーマ「夢をかたちに」の5つの主題が取り上げられます。クラブにおけるリーダーシップ、会員増強、広報に関する情報提供セッションもお見逃しなく。

3. ホスト組織主催行事

2009年ホスト組織委員会は、皆さんに英国での滞在とロータリアンとの親睦を楽しんでいただくために、コンサートや特別公演など数々の行事を計画しています。バーミンガムは、さまざまなツアーの出発地として理想的です。ホスト組織主催のツアーには、クイーンメリー2号でのクルーズや公式代理店が企画する周遊旅行などがあります。

4. 友愛の家

今年度、ビクトリア朝様式をテーマとする友愛の家で、ほかのロータリアンと交流し、皆さんが最も関心を持っている世界的なネットワークづくりの機会について話し合います。模範的なプロジェクトを紹介するクラブ・地区プロジェクトの展示からは、アイデアをクラブや地区に持ち帰ることができます。

5. 100回目を祝う

100回目を迎える2009年RI国際大会は、ロータリーの真髄とも言える奉仕と親睦をロータリアンが祝う特別な集いとなります。より良い世界をつくるという共通のビジョンを持つ人々と生涯にわたる友情を深めながら、共に歴史の1ページを作りましょう。ロータリーの第100回国際大会をぜひお見逃しなく。

クラブ相談室

クラブ会員が地区協議会に出席すべきなのは、なぜでしょうか。

毎年4月または5月に開催される地区協議会は、ロータリアンがロータリーに関する知識を深め、リーダーシップのスキルを磨き、地区内のほかのロータリアンと交流する機会です。

この協議会で、クラブ指導者はクラブ会員の意欲を高め、指導するためのリソースを得られるほか、それぞれの役割や責務についても学ぶことになります。また、地区ガバナー、ガバナー補佐、各委員会委員を含む、次年度の地区指導者にも会うことができます。次年度のクラブ理事と各委員長が、丸1日かけて行われる協議会に出席すべきなのはこういった理由からです。

出席者は、事例研究を通じて、クラブでよく起こる問題について意見を交換したり、解決策を出し合ったりするだけでなく、地区内のほかのロータリアンのノウハウを引き出すことができます。特に、人気のある主題は、人前で話し方、長期的計画、効果的な目標設定です。

このほか協議会では、次年度の地区目標、新しいRIテーマ、クラブ・リーダーシップ・プラン、会員の勧誘と維持に関する情報も提供されます。

総じて、地区協議会は、地区内のロータリアン同士の親睦を楽しみながら、新ロータリー一年度に向けてクラブ会員の意欲を高める場であると言えます。

事務総長の覚書

国際社会が国際ロータリーに寄せる信頼

ビル・アンド・メリнда・ゲイツ財団がポリオ撲滅を目的としてロータリーに2億5,500万米ドルの新たな補助金を提供すると発表したとき、そこにはゲイツ財団の明確な意志表示がありました。世界ポリオ撲滅推進計画の協同団体、そして新しく協同団体となった米国国際開発庁 (USAID) (1ページを参照のこと) と同様に、ゲイツ財団は、この補助金をもって、重大な国際問題に効果的に取り組むことのできるロータリーの能力に信頼を託したのです。このロータリーの絶大な効果は、ひとえに33,000の自治的な加盟クラブの力によるものです。ロータリーが現場での大きな問題の解決に強いとされるのも、クラブの力が働いていればこそです。

ロータリアンは、自ら生活する地域で奉仕しています。地域社会が何を一番必要としているのかを把握できるのも、私たちが地元の一員であるからです。プロジェクトを持続していけるのも、その環境の中で暮らしていかなければならないからです。ロータリーならではのユニークな奉仕の基盤体制は、他団体が真似ることのできないものです。これが、地域社会の社会的、経済的、政治的な面や問題解決に向けての草の根のアプローチについて、私たちの秘密を教えてくださいとほかの団体が相談にやってくるゆえんです。

数カ月前、国連総会の開会式に、李会長とともにRIを代表して出席する機会がありました。その際、同席していた政府の高官や大企業の経営責任者たちが、ロータリーに対して好印象を抱いていることを実感しました。全員が私たちのポリオ撲滅活動について知っていただけでなく、出席者の多くは母国でロータリーの奉仕を実際に目にしたことがあると語っていました。

残念なのは、地域レベルになるとロータリーがこのように広く認識されていない点です。これは、最近のフォーカス・グループによる報告(第4ページ)にある回答から明らかにされた事実であり、状況改善は各クラブに残された課題です。さて、どのようにこの課題に取り組むべきか。地元で行っているよいことを積極的に伝え、注目を集めるようなポリオ撲滅の募金活動を実施すること、そして「人類のために活動します」というRIのリソースを使うことです。ロータリーの国際的な認知度を後盾に、33,000のロータリー地域社会にサクセスストーリーを伝えるときが来たのです。

Ed Fub
エド・フタ (布田)

ROTARYWORLD

ロータリー・クラブの世界的連合体である国際ロータリーの使命は、他者に奉仕し、高い倫理的基準を促進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進することである。

ロータリー・ワールドは9カ国語で年に4回、7月、10月、1月、4月に発行。
発行者: 国際ロータリー, One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue, Evanston, Illinois 60201-3698, U.S.A.
ウェブサイト: www.rotary.org
ファックス: 1-847-866-9732; 電話: 1-847-866-3000
Eメール: data@rotary.org
購読料: 年間米貨5ドル
住所変更は、古い住所ラベルに新住所、新郵便番号、クラブ名を明記して返送、または、変更をEメール (data@rotary.org) で返信してください。

ロータリー・ワールドで紹介できるクラブや地区の奉仕プロジェクトに関する記事のアイデアをお寄せください。プロジェクトの内容、高画質のカラー写真、連絡先を添えてEメール (rotary.world@rotary.org) でお送りください。多くの記事が寄せられるため、掲載できないプロジェクトもあることをあらかじめご了承ください。

本号はロータリー・ワールドの2009年4月号、第15巻、第4号 (ISSN 1079-7718) です。著作権 © 2009年国際ロータリー。

ロータリー刊行物とウェブサイトの編集者は自由に記事を再掲することができます。
編集責任者: Janis Young; 編集主任: Jennifer Lee Atkin
グラフィックデザイナー: Karen Castens
翻訳: 国際ロータリー日本語課

写真: Miriam Doan, Alyce Henson, Monika Lozinska-Lee; コピーエディター: Beth Duncan
校正: Kelly Doherty, Susan Hyland

本号編集関係者: Krista Batey, Abby Breitstein, Joseph Derr, Arnold Duncan, Ryan Hyland, Dan Nixon, Peter Schmidtke, Diana Schoberg, Antoinette Tuscano, Maureen Vaught

国際ロータリー、2009年RI国際大会ロゴ、「夢をかたちに」ロゴは、国際ロータリーの登録商標および知的所有物です。無断複写・転載は禁じられています。

フォーカスグループの結果を機に会員組織の向上を図る

クラブが効果的に新会員を勧誘する方法を探るため、ロータリーは2008年、シドニー（オーストラリア）、ヨハネスブルク（南アフリカ）、ブエノスアイレス（アルゼンチン）でロータリアン以外の人々を集めたフォーカスグループ（座談会）を設けました。

結果、フォーカスグループの参加者200名は、ロータリーをエリート主義、柔軟性がない、男性中心、古い、秘密主義、富裕層向けと見ていたことがわかりました。また、女性はロータリーに入会できない、もしくは歓迎されていないといった印象も根強く残っていました。ロータリーが地元あるいは海外でどのような功績を残しているか、またどのようにしてクラブに入会できるのかといった点については、知らない回答者がほとんどでした。

ロータリーの使命声明、会員の恩典と義務については、内容やその意義、目的がわかりにくいという意見でした。クラブ例会への出席要件については、全員が否定的な反応を示しました。

各都市で依頼した外部の調査会社が参加者を選定してフォーカスグループを実施しました。

今回は残念な結果となりましたが、今後改善できない課題ではありません。クラブがロータリーのイメージを変えるために行動を起こせば、会員の高齢化に歯止めをかけることは可能です。RI会員増強・維持委員会のロン・ポービアン委員長と同委員会のマイク・マクガバン副委員長は次の提案をしています。

- 地元のメディアを通じて、クラブが地域社会プロジェクトに積極的に参加する様子を報道する。
- 女性や若い専門職務従事者に向けてメッセージを発する。
- 会員の恩典として、友情を育める点や家族もともに参加できる点を強調する。
- 多様性に富むボランティア・グループの可能性を具体的に示す。
- クラブと地区用に、明確、簡潔、具体的なメッセージを用意する。
- 伝えたいメッセージを発信するために、新しいテクノロジーやメディアを利用する。
- 100パーセントの出席目標よりも、標準ロータリー・クラブ定款（第12条第4節）に明記されている50パーセントの出席方針を伝えるようにする。
- 奉仕プロジェクトへの参加、委員会への出席、Eクラブ例会への出席など、例会のさまざまなメークアップ方法を推進する。

「ロータリーの未来は、柔軟性、革新的な考え方、そして変わりゆくニーズに適応できるかどうかにかかっている」とポービアン委員長は話します。

「ロータリーの未来は、柔軟性、革新的な考え方、そして変わりゆくニーズに適応できることにかかっている」
ロン・ポービアン

性差別に気をつけよう

ロサンゼルス国際大会の登録者から無作為に選ばれたグループに、女性会員を引きつける上でのロータリーの弱点を尋ねたところ、一貫して、男性による性差別的行動が指摘されました。

「ロータリアンは、『四つのテスト』を守るように心がけていますが、時として（その多くは無意識のうちに）、人を傷つけるような言動を取ってしまうことがあります」と話すのは、第28ゾーンでRI会員組織地域コーディネーターのテリー・ミュラーさんです。

あからさまな性差別的なジョークやコメントを極力避けるだけでなく、もっと微妙な性差別的行動にも気を付けることが重要です。「女性を『お姉さん』『あの娘』と呼ぶのは差別的ですし、ロータリアン全体を『兄弟』と呼ぶのも適切でない場合があります」とミュラーさん。

ロータリアンは、もっと多くの女性会員の勧誘に努めることはもちろんですが、例会やクラブ活動で女性の参加を奨励することも重要です。「女性会員の意見を促したり、その意見を耳を傾けなければ、差別的であるだけでなく、女性を疎外し士気を損ねることになります」とミュラーさんは言います。

4月は雑誌月間

フランスの地域雑誌が若いジャーナリストの育成に貢献

フランスと38のフランス語圏地域に向けて発行される「Le Rotarien」誌は、3万9千人以上の（ロータリアン）読者を誇るロータリー公式地域雑誌です。2002年には年次奨学金プログラムを開始し、ジャーナリストの卵の育成に力を入れています。

この奨学金プログラムは、短編のドキュメンタリー・ビデオを制作する目的で、若いジャーナリスト4名に最高1万ユーロ（13,750米ドル）を授与するものです。審査にあたるのは、「Le Rotarien」職員、ジャーナリズム専門学校の教授、メディア関係者の面々です。

「このプログラムは、フランスの主なジャーナリズム専門学校12校の教員と関係を築く大変素晴らしい方法です」と述べるのは、「Le Rotarien」誌の広報とメディア関係を担当するブリジット・マルカンさんです。「メディア業界でロータリーの公共イメージを高めるのにも一役買っています」

2008年の奨学生の1人、アレクサンドル・パレさんは最

「ジャーナリストにとって最高の機会です」
アレクサンドル・パレ

近、パリのCentre de Formation des Journalistesを卒業しました。現在は、フランスで24時間ニュースを放映する注目のテレビ局、BFMTV局に放送ジャーナリストとして勤務しています。

3月に、ザンビアで電車車両を利用した診療所に関するドキュメンタリーを完成予定のパレさんは、この奨学金が業界で得られる何年分もの経験に匹敵するのだと話します。

「著名なジャーナリストの審査員を前にして、自分のプロジェクトがいかに制作に値するものかを説得するのはとてもやりがいがありました。ジャーナリストにとって最高の機会です」



Rotary Images

「Le Rotarien」誌から奨学金を受け、ザンビアで電車車両を利用した診療所のドキュメンタリーを作るフランスのジャーナリスト、アレクサンドル・パレさん。

ロータリー雑誌を応援してください

ロータリー・ワールド・マガジン・プレスの32の出版物は、国際ロータリーのメッセージを世界中に伝えるのに重要な役割を果たしています。ロータリアンは、「ザ・ロータリアン」誌または所定の地域雑誌を講読するよう義務づけられています。地区ガバナーは、定期購読料を期限通りに支払うよう全クラブ会員に奨励し、編集者に記事のアイデアを送ることで地域雑誌を支援することができます。

フランスのロータリアンが児童の識字プログラムを支援

Coup de Pouce（「後押し」という意味）というプログラムのおかげで、読み書きのできなかった子供たちが、学習成果を上げています。

6歳児を対象とするこのプログラムは、週4日、放課後に実施され、小グループ制で読む力を養うことを目的としています。各クラブの定員は5人に限られ、教師がゲームや遊びを交えて読み方を教えます。また、親子子供たちの学習成果を見守り、家庭での学習を助けるよう奨励されています。

昨年、フランス国内にある1,800クラブで9,100人の子供たちが支援を受け、同プログラムの成功率は92パーセントとなりました。子供たちの親の多くはアフリカからの貧しい移民で、彼ら自身も同プログラムを利用して識字能力を習得している、と識字率向上支援グループ・エリア・コーディネーターで、ヨーロッパを担当するピエール・ルイ・ド

ウセ氏は話します。

同プログラムで児童一人当たりにかかる費用は、1,300ユーロ（1,788米ドル）です。フランス政府から助成金を受けていますが、その他の資金は、ロータリー・クラブによる30パーセントの資金を含め、すべて寄付に頼っています。課題は常に資金の調達だと話すのは、ローヌのリヨン・ヴェー・リヨン・ロータリー・クラブのエリック・グリヴォ氏です。同氏は、Coup de Pouceを運営している教育委員会の委員を務めています。

発足以来13年目となるこのプログラムの参加者数は、2001年以来、毎年



放課後の識字プログラムを通じて、フランスの6歳児たちが読書能力を身につけています。

2倍ずつ増えています。目標は、2012-13学年度までに、6万人の子供たちをこのプログラムに参加させることです。2009年の募金目標は5百万ドルと、グリヴォ氏は話します。

専門家に聞く



奉仕プロジェクトでほかの専門組織と協力関係を結ぶにあたり、心得ておくべきことは何でしょうか。

この問いに、エイズと闘うロータリアン行動グループの創設者兼委員長であり、アフリカ支援委員会の委員であるマリオン・パンチ氏が答えてくれました。

専門組織と協力関係を結ぶことによって、奉仕プロジェクトのための貴重な知識や経験を得ることができます。このような支援は、エイズのような複雑な問題の解決策を見つけ出すのに特に重要です。協力関係を成功させるには、両組織が共通のビジョンを抱き、共通の方策に合意するとともに、長期的な計画に取り組んでいく意欲を備えていなければなりません。

エイズと闘うロータリアン行動グループは、エイズのために孤児となった、弱い立場におかれた何千人ものアフリカの子供たちを助ける手段として、政府および民間の専門組織と協力関係を結びました。20年間にわたり、アフリカの子供たちのためにエイズプログラムを実施している国際的団体、ホープワールドワイドは、エイズに関する専門知識を提供している協力団体です。また、従業員の居住地への支援に努めるコ

カ・コーラ社も、協賛企業となっています。ボランティアの動員はロータリアンの得意とするところですが。

コカ・コーラ・アフリカ財団が、5万米ドルの資金を提供してくれた一方、ホープワールドワイドは、その経験を生かして米国政府からエイズ対策資金を得るための技術提案書を作成してくれました。ロータリーの知名度と評判も提案書の承認に一役買いました。協力組織とともに、私たちは、米国大統領エイズ救済緊急計画から、820万米ドルを確保し、これらの資金とコカ・コーラ・アフリカからの120万米ドルの補助金によって、3年半にわたって75,000人以上の子供たちが介護と支援を受けることができました。

一つ念頭に入れておかなければならないのは、協力関係の構築には時間がかかるということです。定期的なコミュニケーションを図ることによって、信頼が生まれ、課題に取り組むことができます。例えば、政府補助金への私たちの申請書は当初、拒否されました。それは対応策に関して私たちと協力組織が異なるアイデアを持っていたからです。しかし、私たちはその違いを乗り越えて、協力して新しい提案書を作成し、補助金を獲得することができました。

協力組織と手を組み、お互いの信頼と共通の目標の上に関係を構築していくことによって、私たち単独で活動するよりもはるかに大きな支援を子供たちにもたらすことができるようになりました。



米国カリフォルニア州サバストボル・ロータリー・クラブの会長の会を務めるキャサリン・メイヒューさんは、夫のフランクさんとともに「Adopt a Village」モデルを開発しました。写真は、ウガンダのキラガ村の住民に会い、ニーズが満たされているか確認する様子。

「村を支援しよう」プロジェクトを広めるメイヒュー夫妻

「世界平和を実現するには貧困をなくさなければならない」と、米国カリフォルニア州、セバストボル・ロータリー・クラブに所属するフランク・メイヒューさんと妻のキャサリンさんは訴えます。

「Adopt a Village (村を支援しよう)」というモデルを提案し、貧困をなくすための新しい取り組みにロータリアンの協力を呼びかけています。

これは、発展途上国のロータリー・クラブが村を選び、村のニーズを調査した上で、保健、食糧生産、教育に関するプロジェクトを企画するものです(該当する村では、きれいな水とマラリア予防に関連する保健プロジェクトが必須)。パートナーとなるクラブが3つのニーズすべてを引き受け、丸ごとその村の面倒を見ることとなります。プロジェクトの費用は通常、3万米ドル程度で、ロータリー財団のマッチング・グラントを利用した例もあります。

これまでに、ケニア、ナイジェリア、フィリピン、ウガンダのクラブが、カナダ、英国、米国のクラブの支援を受けてプロジェクトに参加しました。メイヒュー夫妻はこのプロジェクトのコンセプトを北米のいくつかのクラブで説明してきましたが、現在はクラブ

GSEチームが実施地を訪問

第5130地区研究グループ交換チームがナイジェリアの第9110地区を訪れた際、チームメンバーは、「Adopt a Village」プロジェクトの実施予定地であるイジャドで一日を過ごしました。メンバーは、その村に医療クリニックがなく、村人は一日に何度も水汲みに出かけなければならないこと、読み書きをできる成人が10パーセントに満たないことを知りました。

「プロジェクトへの意欲を新たにして帰国しました」と話すのはチームリーダーで、ウィンザー・ロータリー・クラブ(米国カリフォルニア州)のスーザン・コールさんです。「村の女性たちと話をし、心を動かされました。ただのプロジェクトではなく、もっと直接的な結びつきができたのです」

の仲介役を務め、友好関係にあるクラブ同士が同じプロジェクトモデルを使って活動に着手するよう勧めています。

「ロータリーには3-H補助金という大きな補助金がありますが、いろいろな要素を一度にカバーする補助金がありませんでした」と話すフランク・メイヒューさんは、第5130地区の補助金小委員長です。「ありそうでなかった補助金だけに、目から鱗の落ちる提案となりました」

ウェブサイトで

「Adopt a Village」の詳細をご覧ください。
www.toadoptavillage.org



太陽電池パネルの下にできた日陰に集まるスリナムの子供たち。このパネルは、ロータリアンによって設置された浄水設備の電力源です。

6月はロータリー親睦活動月間

国際チェス親睦グループ成功の鍵はテクノロジー

数年間かけてチェスの対戦を行っていた時代は終わりました。ロータリアンの国際チェス親睦グループのメンバーは現在、一手一手を相手に郵送する代わりに、コンピューターのクリック一つでキングを取ることができるようになりました。

郵便を通じて数年間も対戦していた時代と比べ、Eメールを使ってプレーができるようになった現在では、数週間でゲームを終えることができます。チェス親睦グループのデイビッド・スミス委員長は、インターネットの対戦はゲームのスピードを上げただけではない、と言います。親密な友情を育み、コミュニケーションを高め、より深い友好の絆が結ばれるようになったと話します。

「テクノロジーのおかげで、ロータリアン同士の国際的な対戦が格段にやりやすくなりました」と続けるスミス委員長は、英国グレーターロンドンのパークサイド・ロータリー・クラブ会員です。「

新しいプレーヤーに会ったり、最近の行事について意見を交換したり、お互いのクラブの近況を報告しあったり、といったことが手軽にできるようになりました」

チェス親睦グループは頻りに直接顔を合わせる必要がないため参加しやすい、とスミス委員長は加えます。

1977年に結成されて以来、同親睦グループは数々のRI国際大会でブースを設け、訪れた都市には、米国内のほとんどの都市と海外の多くの都市も含まれています。ロサンゼルスで開催された2008年RI国際大会では20名の新会員が入会するという記録を達成しています。この親睦グループの年会費が25米ドルに抑えられていることも、ロータリアンにとっての魅力の一つ、とスミス委員長。

「親睦はロータリーの重要な一部です。私の人生における楽しみ、チェスとロータリーを同時に体験できるこの活動に、大変満足しています」



米国カリフォルニア州ロサンゼルスで開催された2008年RI国際大会の友愛の家で、非競争のチェスをプレーするデイビッド・スミス氏(右)は、ロータリアンの国際チェス親睦グループ委員長です。

数字で知るロータリー

1,220,413 世界のロータリアン数* | 534 ロータリー地区数 | 33,260 ロータリー・クラブ数*

7,472 ローターアクト・クラブ数 | 171,856 ローターアクト会員数

11,886 インターアクト・クラブ数 | 272,918 インターアクト会員数

6,522 ロータリー地域社会共同隊(RCC)数 | 150,006 RCCメンバー数

*印は2008年11月30日現在。それ以外はすべて2008年12月31日現在の数字。

1万人にきれいな水をもたらしたスリナムのプロジェクト

南米の小国、スリナムには、3つのロータリー・クラブしかありませんが、きれいな水をもたらすプロジェクトでロータリアンが大きな成果を収めました。

スリナムでは、不法な採鉱が原因で多くの川が水銀汚染され、何千人もの人々の生活が脅かされています。

「プロジェクトは非常に大きな成功を収めました。その要因には、浄水設備に関するあらゆる面に地元の人々が積極的に加わったことがあります」
アントン・ブランドン

パラマリボ・ロータリー・クラブは、ドイツ、オランダ、米国のクラブとの協力の下、原住民の住むカハパティとアベナストンの村に焦点を絞り、新しい浄水設備を設置するプロジェクトを実施しました。投入された73,000米ドルの資金により、貯水タンク、ろ過装置、ポンプ、その他の設備が購入されました。これらはすべて、太陽電池パネルによって作動します。同クラブは、ロータ

リー財団のマッチング・グラントの支援を受けたほか、Georg Fischer Bicentenary Foundation (ジョージ・フィッシャー200年財団)、アルコア財団、カナダ基金とも協力関係を結び、財政的支援を得ました。

パラマリボ・ロータリー・クラブの会員は、ここ数年間に総額350,000米ドルを投入して7つの水プロジェクトを遂行し、推定1万人の人々に安全な飲料水をもたらしました。このほかのプロジェクトでは、18世紀に逃亡してきた奴隷の子孫であるマルーンの人々の村など複数を支援しました。

「プロジェクトは非常に大きな成功を収めました。その要因には、計画の段階において、浄水設備に関するあらゆる面に地元の人々が積極的に加わったことがあります。村の長老たちの同意と知識なしに、このプロジェクトは実施できなかったと思います」と話すのは、同プロジェクトの運営で主要な役割を果たした、パラマリボ・ロータリー・クラブ会員のアントン・ブランドン氏です。

同クラブはまた、プロジェクトの持続性を保つために、村の人々を積極的に関与させていくよう努めました。村人たちは、地下水道の建設に加わり、水道設備の管理に関しても研修を受けました。

奉仕活動が留学体験の幅を広げる



国際親善奨学生の援助によって、新しい図書室とコンピューターを利用できるようになったチリの公立学校の子供たち。

ロータリー国際親善奨学生が学校に通うのは当然のことですが、チリに留学した4人の奨学生は、単に通学するだけでなく「学校を支援する奨学生」となったのです。

2008年、この4人は、バルパライソの大学に通うかわら、「学校を支援する奨学生」と銘打って、チリの貧困地域に図書館を立てるプロジェクトを開始しました。

「勉強だけを目的に留学していたら、こんなに多くのことを学べなかったと思います」と奨学生の一人、ポール・ゴールドバーグさんは話します。

奨学生となる前にインターンの教師としてチリで働いていた当時、ゴールドバーグさんは、書籍に19

パーセントの付加価値税がかかることを知りました。これは、

大学生にとっては大きな痛手です。そこで、同地域の小学校

への影響はどうだろうと考えるようになりました。そして調べた結果、公立と私立の学

校には大きな格差があり、図書室はおろか本さえもない公立学校がたくさんあることがわかりました。

そこでゴールドバーグさんは、米国からチリに留学していたほかの3人の奨学生、ハンナ・ケリーさん、スーザン・オーウェンさん、ネーサン・ギルさん

「勉強だけを目的に留学していたら、こんなに多くのことを学べなかったと思います」
ポール・ゴールドバーグ

とともに、「学校を支援する奨学生」を立ち上げました。このプロジェクトは、アルゼンチンの国際親善奨学生が発足したプロジェクト、「プロジェクト・パタゴニア」に倣ったものです。

4人の奨学生は、地域社会の人々の協力を得て、米国のロータリー・クラブに支援を呼びかける

ビデオを制作しました。そして、プロジェクトの対象となる学校を選ぶと、倉庫として使われていた大きな

部屋に10台のコンピューターを備えつけ、図書室兼マルチメディアルームに変身させたのです。

2つのロータリー・クラブの会員と、複数の大学生からもこのプロジェクトに支援が寄せられました。

また、RIの第4320地区(チリ)、第5320地区および第5240地区(米国カリフォルニア州)、第

6400地区(カナダ、オンタリオ州と米国ミシガン州)、ならびに第7690地区(米国ノースカロライナ州)からも資金が寄せられました。

4人の奨学生は、来年度の国際親善奨学生がこのプロジェクトを引き継いでくれることを願いつつ、現在、第4320地区と第5240地区の協力の下、

マッチング・グラントを申請しています。

「奨学生の誰もが彼らのような意欲を持ってくれるかどうかはわかりませんが、何らかのプロジェクトに参加することで多量に学ぶようロータリーが呼びかけていければよいと思います」と、

米国カリフォルニア州のアロヨ・グランデ・ロータリー・クラブの会員で、ゴールドバーグさんを個人指導したカーティス・ラインハルトさんは話します。

ロータリーのポリオ撲滅活動が写真で語られる

ロンドンで開かれた写真展で、元ポリオ患者のガウタム・ルイスさんと写真家のジーン・マーク・ギボーさんによる作品が、ロータリーのポリオ撲滅への闘いをまざまざと伝えました。

ルイスさんは、2007年に、生まれ故郷であるインドのコルカタを訪れ、子供たちにポリオの予防接種を行いました。その様子をとらえたのがギボーさんです。ギボーさんはこれまで、残るポリオ常在国であるアフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタンにおいてポリオ撲滅との闘いを写真に収めてきました。

3歳でポリオにかかり、家族から見放されたルイスさんは、マザー・テレサの「神の愛の宣教者会」で2年間生活し、さらに2年間にわたり度重なる手術を

「ロータリーの活動のおかげで、多くの人々が幸福で建設的な生活を送ることができるようになります」
ガウタム・ルイス

受けました。7歳の時にルイスさんは、原子物理学者のパトリア・ルイス博士の養子として迎えられ、ニュージーランドとロンドンで育てられました。ロータリーのポリオ撲滅活動を知って以来、ポリオのない世界を実現するために活動するロータリーを支援したいと意欲を燃やしてきました。

「ロータリーの活動のおかげで、多くの人々が幸福で建設的な生活を送ることができるようになります。私が身をもって

知る悲惨なポリオの後遺症に一生悩まされることなくあります」とルイスさんは話します。

国際ロータリーが主催し、イベント業者のBrandRevelation.comにより企画された1週間のフル・サークル写真展は、去る10月にメニューール・チョコレート・ファクトリーのギャラリーで開かれました。この写真展には、パキスタン高等弁務官をはじめ、世界保健機関ならびに英国の国際開発省と保健省の代表者を含む350人以上が訪れました。

右:元ポリオ患者のガウタム・ルイスさん(前方)と写真家のジーン・マーク・ギボーさん。ロンドンのフル・サークル写真展にて。



Photo by Fergus Burnett

引用に値する言葉

「ロータリー財団は、前例のない変化、またとない機会、未曾有の成長を遂げる準備ができています。また、未来の夢計画は、ロータリーとその財団を想像を超える高みへと昇華させる促進剤になるでしょう」

— ロン・パートン、ロータリー財団副管理委員長
米国カリフォルニア州サンディエゴで開催された2009年国際協議会にて

ロータリーのチャレンジに100万ドルを寄付した許さん一家

92歳になる台湾のロータリアンとその家族が、ロータリーのポリオ撲滅活動と2億ドルのチャレンジを支援するため、100万米ドルを超える寄付を行いました。

昨年10月に第4Bゾーン、6Bゾーン、7Bゾーンの2008年ロータリー研究会で、許氏家庭基金から多額の寄付を寄せた許水森さんと夫人の碧嶺さんが表彰されました。許さんは台北西北ロータリー・クラブの40年来の会員です。



台北(台湾)の許水森さんご夫妻

台北にて開かれ、1,100人以上のロータリアンが出席したこの研究会で、李東建RI会長とジョナサン B. マジアベロータリー財団管理委員長が、許さん夫妻に記念のクリスタルを贈呈しました。

「許さんご一家のような心強い支援者がいてくださることは、ロータリーにとってこの上ない幸せです」と、贈呈式の後に李会長は述べました。「長年にわたる許さんのロータリーへの奉仕は、「超我的奉仕」の模範であると言えます。ポリオ撲滅に向けたロータリーの継続的取り組みに対する許さんご一家の多大なるご支援は、「夢をかたちに」するために役立てられていくでしょう」

許さんは同クラブで1974-75年度会長を務めた経験があります。息子の弘明さんは台北延平ロータリー・クラブで1982-83年度会長を務めました。

許氏家庭基金は、医学の発展を支援するために2年前に設立されました。

志高きロサンゼルス・クラブ、まずは寄付から

米国カリフォルニア州にあるコリア・タウン・ロサンゼルス・ロータリー・クラブでは、2007年以来、少なくとも7人の会員がロータリー財団の大口寄付者となっています。このクラブのリーダーは、多くの会員がこれに続いてくれると期待しています。

2007-08年度、当時会長だったドン・ジン・スン氏は、クラブへの注目を高めると同時に、会員の積極的な参加を促すため、大口寄付を行うよう会員に呼びかけました。

「何事においても、投資をした人は、その資金が有効に活用されるよう、無関心ではいられないものです」とスン氏。「良いクラブ会員になるには、ロータリー財団に寄付しなければならないと思います」

また、スン氏は、このクラブでは会員全員が1,000ドルを寄付し、ポール・ハリス・フェローとなっていると言います。さらに、

財団に毎年240ドルを寄付するよう、全会員に奨励しています。

財団に寄付すれば、アジアの貧しい地域社会を改善するプロジェクトを継続していくことができる、と話すのは、現クラブ会長のジェームズ・チャン氏です。会員からの寄付と参加が増えれば、クラブは大規模なプロジェクトを立ち上げられるだろうと、スン氏は考えています。

「当クラブは、財政的にも、事業的にも、豊かな人材に恵まれています」とスン氏。「ロータリーで行われる大規模な国際プロジェクトを成功へと導くには、まずは財団への寄付から始めなければならないのです」

このクラブの大口寄付者は寄付レベル1(財団恒久基金に1万~2万5千ドル)に達しています。



先ごろ、第5280地区ガバナーのチャールズ・アンダーソン氏が、米国カリフォルニア州ロサンゼルス・コリア・タウン・ロータリー・クラブの大口寄付者数名を表彰しました。左から:ジェームズ・チャン・クラブ会長、アンダーソン氏、スティーブ S. コー氏、ダイ R. リー氏。

才能を生かしてポリオ撲滅資金を集めるロータリアン

「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」の募金活動で、大勢のロータリアンが音楽やマーケティングの才能、運動能力を発揮しています。世界各地のクラブからいくつかの例をご紹介します。

スイス: 9月13日、「全国小児麻痺と闘う日」に、スイス国内の200以上の市町村からロータリアンが一斉にキャンペーンを行い、ロータリーのチャレンジを支援して、ひまわりの種を一袋75セントで売りました。地元の政治指導者や保健当局者からの後押しもあり、最初の報告では、669,000米ドルの募金を集めることに成功したそうです。全体として、この募金では100万スイスフラン(90万米ドル以上)を集めることを目標としている、と話すのは、ツーク・ツカーシー・ロータリー・クラブ会員のアンドレアス・クレープさんです。「今後数か月以内にこの目標に到達する自信があります」とクレープさん。

カナダ: アルバータ州のレッドディア・イースト・ロータリー・クラブのハンス・ウィーグナーさんは、スペインのポリオ撲滅ウォークに参加しました。2千年の歴史を誇るこの巡礼路(1007キロメートル)を10月6日から11月9日にかけて歩いた旅の収益はす

べて、ロータリーのチャレンジに贈られました。本紙印刷時までに、40,410米ドルが集まっています。

米国: カリフォルニア州クバチーノ・ロータリー・クラブは、シタール、フルート、サクソ、ギター、タブラを演奏するインドの音楽家を招いてジャズコンサートを開きました。1,600人以上が来場し、およそ25,000

ドルの寄付がロータリーのチャレンジに寄せられました。「インドはポリオ常在4カ国の一つで、私たちの地元(サンフランシスコ)にはインド系の住民が多いことから、ポリオを世界から撲滅するために、皆で何かすべきだと思ったのです」とクラブ会員のマヘッシュ・ニハラニ氏は話しています。



英国、ダービーシャー州のバクストン・ロータリー・クラブが企画した28人のプラスバンドによる「命の音楽コンサート」では、ロータリーのチャレンジのために約1,870ドルの募金が集まりました。また、2008年にインドで実施された全国予防接種日に使われた「End Polio Now」のバナー(ニューミルズ・ロータリー・クラブ会員、マイク・エイイツさん提供)も展示されました。



14歳の少年に手術後の治療を施すインドネシアのスラバヤ・ジュンパタンメラ・ロータリー・クラブのトク・スダルト元会長。

インドネシアのクラブが口唇裂を患う2千人の子供たちを支援

7歳のシャルル・グナワン君は、鏡の中に映る自分の鼻と唇に触れ、母親に笑顔を見せて、自分がどれだけハンサムであるかと喜びの声を上げました。シャルル君は、上唇の両側の口唇裂を直すための手術を受けたばかりです。

インドネシアのスラバヤ・セントラル・ロータリー・クラブのサルカ・ハミッドさんは、息子に普通の人生を与えることができると話したシャルル君の母親の姿を思い起こします。

「シャルル君のような子供たちのことを聞くと涙がこぼれそうになります。世界中の人々の友情が、一人の子供の人生を変えることができると実感できるからです」

シャルル君は、スラバヤ・セントラル・ロータリー・クラブとハミッドさんの活動を通じて、2001年に初めて口唇裂・口蓋裂の手術を受けた子供たちの一人です。以来、オーストラリア、オランダ、インドネシアのロータリアンをはじめとする人々の支援によって、2千人の子供たちが手術を受けました。

この活動には、2つのマッチング・グラントが授与されました。そのうちの一つを最近受領したプロジェクトは、第1610地区(オランダ)との共同提唱によるものです。45,000米ドルを投入して実施された同プロジェクトは、2006-07年度に149人の貧しい子供たちに手術を提供しました。

歯科矯正医のハミッドさんと、スラバヤ・セントラル・ロータリー・クラブのほかの2名の会員が、患者の移送を手配したほか、手術後の看護に関して親を指導したり、本やおもちゃを子供たちに提供したりしました。またロータリアンは、地元の村人を募り、手術の恩恵について村落の家族に話してもらいました。

「口唇裂を患った子供たちとその家族は、口唇裂のような疾患を厄病と考えているために、途方もない苦痛とストレスに悩まされます」とハミッドさんは話します。「これまで、この疾患がいかに複雑であるかを知っていた人々は、この村にはほとんどいませんでした」

数字で知るロータリー

- 口唇裂と口蓋裂は、顔の先天性異常の中で最もよく見られるもので、世界的には700人に一人が、アジアでは500人に一人がこの疾患を持って生まれています。
- 口唇裂と口蓋裂は、食べたり話したりすることや呼吸を困難にするほか、歯科疾患、耳の感染症、難聴を引き起こしたりもします。
- 口唇裂は、上唇の小さな切り込み程度のもので唇が鼻まで縦に大きく裂けているものまで程度はさまざまです。
- 口蓋裂は、口蓋が裂けてしまう疾患で、軽度の奇形から、大きく口蓋が裂けてしまうものまで程度はさまざまです。
- 口唇裂と口蓋裂の両方を患って生まれてくる、あるいはそのいずれかを患って生まれてくる赤ちゃんがいます。
- 矯正手術を行うのに望ましい年齢は、口唇裂の場合は、生後10~12週間、口蓋裂の場合は、9~18週間です。

出典: University of Pittsburgh School of Dental Medicine; American Academy of Otolaryngology



国連ミレニアム・キャンペーン理事、サリル・シェティ氏

国連目標の達成には協力が必要

11月に国連で開かれたロータリー・デーで浮上したテーマ、それは協力関係へのニーズの高まりです。

国連のミレニアム開発目標の多くの分野で明らかな進展が見られる一方、2015年の目標達成にはさらなる努力が必要である、と話すのは国連ミレニアム・キャンペーンの理事、サリル・シェティ氏です。2000年に採択された国連ミレニアム開発の8つの目標には、飢餓の半減や、子供の死亡率を3分の2削減することなどが含まれています。

「目標達成が不可能だと言う理由はどこにもありません」とシェティ氏。「達成は可能なのです」

国民に対して責任を持つよう、企業や地域社会のリーダーたちが自国の政府に働きかけること、また、こうしたリーダーが毎年恒例の「Stand Up, Take Action」イベントに参加して支援する姿勢を見せることが大切である、とシェティ氏は述べます。

国連「グローバル・コンパクト」のネットワークと研究推進計画のシニア・アドバイザーであるジェームズ・ハートル氏は、人権や労働、環境、汚職の防止など、10の事業原則を守っているおよそ6千の企業と非政府組織について紹介しました。こうした組織にはロータリー・クラブも含まれています。

2000年に発足した「グローバル・コンパクト」は、コーポレート・シティズンシップ(社会の一員としての企業)および持続可能な開発を推進する世界最大の協力活動です。「富、新しいアイデア、商業、生活水準の向上が民間部門によってもたらされることは、ますます明らかになっているのです」とハートル氏は述べます。



ウェブサイト

詳細は以下をご覧ください。
www.standagainstpoverity.org
www.unglobalcompact.org

元国際親善奨学生がルーマニアの学校を援助

ルーマニア出身のミハエラ・タッカーさんは、ロータリーから恩恵を受けたわけではありません。彼女は、他者に奉仕する、というロータリーの使命を実践しています。

2000年に国際親善奨学生として英国のエクセター大学留学中に、タッカーさん(ルーマニアのクルージュ・ナボカ・ロータリー・クラブの創立会員で元会長)は、クルージュ・ナボカの視覚障害者のための学校に恩恵をもたらしたロータリー・プロジェクトを監督しました。スコットランドのハイランドにあるエルジン・ロータリー・クラブを通じて企画された同プロジェクトで、新しい暖房設備と音声装置の付いたコンピューターがこの学校に提供されました。この学校は、ルーマニアで初めてテクノロジーを取り入れた学校です。

現在、英国南西部にあるブリッジウォーター大学で、フランス語の準講師を務めるタッカーさんは、2007年、英国デボンの

リックスハム・ロータリー・クラブとトッキー・ロータリー・クラブ、ならびにクルージュ・ナボカ・ロータリー・クラブが実施したマッチング・グラント・プロジェクトを支援しました。これは、ガルダ・シーカにあるタッカーさんの母校の小学校にトイレを設置するプロジェクトです。タッカーさんは昨年、ブリックスハム・ロータリー・クラブとトッキー・ロータリー・クラブから、ルーマニアのほかの学校にコンピューターやその他の設備を提供する別のプロジェクトへの支援を頼まれました。

「(ガルダ・シーカでのプロジェクトにおける)私の役割は、翻訳の問題や文化的な違いに関して、関係者間のコミュニケーションを図ることでした」と述べるタッカーさんは、「ロータリーとは何か、プロジェクトの成功がどれだけ意義あるか」を地元の人々に理解してもらうためにも貢献しました。



ルーマニアの母校の小学校を訪れた元国際親善奨学生のミハエラ・タッカーさん。この小学校は、タッカーさんが援助をしたマッチング・グラント・プロジェクトの恩恵を受けました。

ロータリーがポリオ撲滅貢献の「殿堂入り」を果たす

「ポリオ撲滅貢献の殿堂」の50周年を記念して、世界ポリオ撲滅計画の主要パートナーである国際ロータリー、世界保健機関、米国疾病対策センター、ユニセフが晴れて殿堂に迎え入れられました。

米国ジョージア州のルーズベルト・ウォームスプリングス・リハビリセンター、ファウンダーズ・ホールの外にある「ポリオ撲滅貢

献の殿堂」には、殿堂入りした各組織を称える大きなブロンズ製の楯が恒久的に展示されています。楯には、現在も続くポリオ撲滅活動への貢献が詳細に綴られています。

昨年11月に行われた式典には、ロータリーを代表して、ロータリーの2億ドルのチャレンジ委員会の委員長を務めるジョン・ジャム管理委員が出席しました。